

山行報告書

作成日：2013年1月7日

愛知岳連 岡崎山岳会

山名(山域)	八ヶ岳・権現岳	目的(方法)	恒例の年末山行
期間	2012年12月29,30日	形態	幕営一泊
参加人数	3名		

行動記録

【1日目】 山本宅(4:40) === 豊田東IC(5:00) === 長坂IC(7:00) === 天女山交差点PKG(7:30,8:00) --- 前三ツ頭(12:50,13:00) --- 三ツ頭(14:30)<幕営>

【2日目】 三ツ頭TS(5:00,7:00) --- 権現岳(8:20,8:40) --- 三ツ頭TS(0930) --- 天女山(1240) --- 天女山交差点PKG(1300,1320) === みはらしの湯(1340,1430) === 長坂IC(1500) === 駒ヶ根SA(1630) === 岡崎IC(1630) === 山本宅(1640)<解散>

日誌

出発前日まで天候が心配だったが、初日は快晴であった。ちょうど明るくなった頃、長坂ICを降りて登山口となる天女山へ向かう。交差点脇に4、5台くらい駐車できるスペースがあるが、既に3台の車が停っていた。トイレ等はない。準備をして出発。

樹林帯の緩い登りで、風もなくほとんど寒さを感じない。汗をかきながら進む。途中、開けた所では甲斐駒、乗鞍、富士山がくっきり見えて感動した。緩かった登りが段々ときつくなってきて、坂の途中でアイゼンを着ける。前三ツ頭までは樹林帯の中でまったく危険な箇所はなかった。前三ツ頭から先は疎林になり、視界も開けてくる。ここで昼食を摂る。予定時間よりかなり遅れており、CLはキレット小屋まで行くのは無理ではないか、権現小屋か、三ツ頭での幕営を提案。三ツ頭までは登ったが、この先の急登を見て、やはり三ツ頭山頂付近で幕営することにした。

余裕で来ていたTさんに先の樹林帯にもっといいテン場がないか偵察に出したが、あまりいい所はなかったとの報告。稜線の地獄谷側に風の避けられそうな所を見つけ、そこを掘ってテン場とした。余裕ができたのでしっかりとトイレも作り、あとはテントの中でCL特製のソーセージと寄せ鍋をいただき、酒を飲んで過ごす。午後10時ごろ就寝。

夜半から風が吹き始め、テントを雪が叩く音が聞こえた。朝、用足しに外に出てみるとガスでかなり視界が悪かった。テントの中で最低限のものをパッキングし、ゴーグルを装備して出発した。

雪と風はあるものの、気温が高いせいか汗が吹き出し、眼鏡やゴーグルが曇る。TSに戻るまで、終始眼鏡、ゴーグルの曇りと着雪に苦しめられる。



先行パーティーもいて、トレースを追っていたつもりだったが、いつのまにか見失い、稜線沿いを直登する羽目になった。トレースのある一般道に再び戻る時に、今回の山行で唯一のラッセルをした。普通に夏道沿いに行けばしなくて済んだのだが。権現山頂を一度過ぎ、小屋が見えてから以前、山頂に来たことを思いだし、標識の残骸のみが残る権現岳山頂に立つ。一本取って早々とTSに戻る。

TSで昼食、撤収を終え、みぞれの中を下る。山頂付近は湿った雪だったのが下界が近づくと完全に雨になった。そんな中でもソロが3人ほど登っていった。複雑な心境。

途中三回ほど休憩し、登山口へ着く。びしょ濡れのまま道具を片付け、近くの温泉でさっぱりしてから岡崎へ帰った。

感想

初日は晴天で、周りの山々がとても綺麗に観られて感動した。N君の調子が悪い、というよりも荷物が多すぎたせいだと思うが、予定の時間からかなり遅れてしまい、ハイライトのキレット縦走ができなかったのは残念。とはいえ、そういう自分も初日の登りはかなりきつかった。縦走を考慮して、荷物は絞ってきたつもりだったが、まだ体力が戻ってきていないのだろうか。二日目の雨天を思うと、撤退したのは正解だったかもしれないが、気温、風共にさほど脅威ではなかったため、多少の後悔は残る。もっと体力をつけて再チャレンジしたい。